

## 日本地震工学会・大会 2011 で当センターのメンバーが研究発表を行いました (2011/11/10-12)

11月10日(木)～12日(土)の3日間、東京・国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）で日本地震工学会が主催する「日本地震工学会・大会 2011」が開催されました。同学会は、地震防災に関する地震、応用地質、構造、地盤、鋼構造・コンクリート工学、機械、振動制御、ライフライン、地域防災計画、クライシスマネージメント、リスクマネージメントなどの社会システム分野をカバーする学会です。年に1回、年次大会を行い研究発表による情報共有や交流が行われています。当センターからは、4件の研究発表を行いました。今年度は、東日本大震災に関する調査やオーガナイズドセッションが設けられ、出席者の関心を多く集めていました。大会3日間を通して、地震工学技術フェアも同時に開催されました。各発表者の講演題目等は次の通りです：

### 題目

#### 東日本大震災調査

源栄正人, Tsoggerel Tsamba : Investigation of High Acceleration Records at K-NET Tsukidate Station During the 2011 off the Pacific Coast Tohoku Earthquake  
Tsamba Tsoggerel, Masato Motosaka : Investigation of Dynamic Behavior of a Damaged 9-story Building during the 2011 off the Pacific Coast Tohoku Earthquake

佐藤健, 村山良之, 矢崎良明, 源栄正人 : 東日本大震災における学校の被害と震災対応地盤震動

#### 地盤振動

大野晋 : 東北地方太平洋沖地震とその余震における強震動分布

下線はセンター構成員